



平成30年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、平成30年5月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成31年3月

都市整備部長 久野茂嗣

1 総括

- 1 道路施設の長寿命化や生活道路の修繕を行い、安全・安心な道路環境整備の推進に努めました。また、今年度開催された福井国体に向け、街路樹柵への花木の植栽や道路の清掃を行い、来訪者へ「美しいさばえ」のアピールを行いました。
- 2 河川の整備については、日々、県に要望するなど県と共に水害に強いまちづくりの推進に努めました。また、雨水幹線の整備や田んぼダム整備の区域を拡大し、市民が安心して住み続けられるまちづくりの推進に取り組みました。
- 3 老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の拡幅等の整備を行なうことにより、生産性の向上や維持管理費の軽減が図られ安定的な農業経営に寄与しました。
- 4 林道の路面整備や山際における里山環境保全のための森林整備に取り組んだことにより、継続的かつ効率的な森林経営に寄与しました。
- 5 沿線集落と十分に協議を行い、鉄道・運輸機構や県と連携をとりながら地元要望の対応や道路等の機能回復を伴う補償工事に取り組み、北陸新幹線整備事業の着実な事業推進に努めました。
- 6 立地適正化計画の周知、屋外広告物の是正および鯖江鉄道沿線地区都市再生整備計画の変更を行い、快適で市民が誇りのもてる美しいまちづくりに取り組みました。また、新たに西山公園東山に休憩所を整備し、道の駅と動物園との連携強化を図ることで、西山公園全体の魅力を向上させ、賑わいのある中心市街地の形成を推進しました。
- 7 市営住宅長寿命化計画に基づく市営住宅のストック改善に取り組みました。また、個別訪問による民間木造住宅の耐震化支援、補助制度の活用による定住促進支援、子育て世帯支援、空き家利活用支援を行ったことにより良質で安全安心な住環境の確保に努めました。
- 8 地震等災害に強い水道施設整備として管路の耐震化を進め、安全でおいしい水の安定供給に努めました。また、水道事業経営の健全化に取り組むため、水道基本計画の策定や余剰施設廃止の検討を行いました。
- 9 公共下水道および農業集落排水の未接続世帯への戸別訪問による普及促進や合併浄化槽設置補助を利用した設置促進を行い、公共用水域の保全に努めました。また、『経営戦略』を策定し、下水道事業の健全化経営に向けて取り組みました。

2 課題・今後の方向性

- 1 道路施設の長寿命化の継続により安全・安心なまちづくりに取り組むとともに、福井国体で実施した美しいまちづくりの推進を継続し、道路空間の美化保全に取り組む必要があります。
- 2 市民の生命や財産を水害から守り、安全・安心なまちを創出するため、引き続き雨水幹線整備を行うとともに、更なる治水対策として田んぼダム事業の整備区域拡大に取り組む必要があります。
- 3 安定した農業経営を継続するためには、更なる生産性の向上や施設の維持更新が必要であることから、引き続き地元ニーズの把握と用排水路等の改修工事を行う必要があります。
- 4 森林の持つ水源涵養や地球温暖化の防止、木材をはじめとする林産物の供給等、多面的機能を維持するため、引き続き植栽・保育・間伐等の森林整備を適切に行う必要があります。
- 5 北陸新幹線整備の推進のため、引き続き支援計画に基づく地域振興策の対応や機能回復工事を進めるほか、本格化する工事による騒音、振動、電波障害など生活環境への影響についても、鉄道・運輸機構、県、施工業者と連携を取りながら対応に努める必要があります。
- 6 賑わいのある中心市街地の形成を推進するため、道の駅や動物園と連携し、西山公園全体の魅力を向上させるとともに、西山公園と鯖江 I C を連絡する道路の整備に向けて関係機関と協議を進める必要があります。
- 7 本市への定住促進や住環境向上のため、子育て世帯支援や空き家の有効活用など関係機関と連携を密に情報を発信していくとともに、旧耐震木造住宅の所有者に対しては、防災意識の向上、耐震化の必要性、補助制度の周知等、個別の啓発活動により耐震化率の向上を図る必要があります。
- 8 水道料金収入の減少が見込まれる中、安全で強靱な水道を持続して運営するためには、老朽施設の更新や耐震化を計画的に進めるとともに、補助事業の活用や財源の確保など健全な企業経営に努めていく必要があります。
- 9 下水道使用料収入の減少が見込まれる中、一般会計に大きく依存しない事業運営が課題となっています。今後、下水道事業の健全化の取組みとして、接続率の向上や料金改定を含めた財源確保のほか、施設の長寿命化など整備計画の平準化を進めていく必要があります。

3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目>	<取組結果>
<p>1. 安全安心な道路環境とまち美化の推進</p> <p>安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき道路施設の適正な維持管理に努め、快適な歩行空間の整備や街路樹への花木の植栽、道路の清掃に取り組みます。また、冬期間の安全を確保するため、消雪施設の適正な維持管理に努めます。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民とともに道路の美化に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 橋梁長寿命化事業 2橋 (6m以上の修繕工事の実施) ◆ 消雪水源施設点検整備 4箇所 ◆ 快適な歩行空間整備延長 9月末 (メガネストリート 1,300m) ◆ 道路美化延長 10,000m (スイーパーによる道路清掃) ◆ ガザニアの植栽 2箇所 (定次第2水源地・メガネストリート) ◆ 道路・河川里親の新規登録数 1件 (H29年度末 登録数41件→42件) 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき東公園橋・小黒町3号橋の修繕を行いました。快適な歩行空間の整備として、道路清掃車により有定鳥羽線他3路線の清掃を行い、メガネストリートの整備も行いました。冬期間の安全確保のため西山長泉寺線他3カ所の消雪ポンプ引上げ点検を行いました。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民と共に道路の美化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 橋梁長寿命化事業 2橋[A] ◆ 消雪水源施設点検整備 4箇所[A] ◆ 快適な歩行空間整備延長 9月末[A] ◆ 道路美化延長 10,000m[A] (スイーパーによる道路清掃) ◆ ガザニアの植栽 2箇所[A] ◆ 道路・河川里親の新規登録数 1件[A] (H29年度末 登録数41件→42件)
<p>2. 災害に強い河川等の整備</p> <p>都市機能の充実したまちを実現するため、河和田川・吉野瀬川の改修に努めるとともに、鯖江市総合治水基本計画を基本に、雨水幹線等(御幸神中一号雨水幹線・日之出舟津雨水幹線・丸山二号雨水幹線など)の整備を行います。さらに田んぼダムを整備し河川の負担軽減に努めます。また、県と連携して土砂災害防止施設整備を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川施設の整備延長 200m (H29年度末 整備率59.7%→60.1%) ◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長 950m (H29年度末 整備率45.2%→45.4%) ◆ 田んぼダム整備面積 120ha ◆ 神通川整備計画策定(集落基盤) 3月 ◆ 土砂災害防止施設の整備促進 4箇所 (新規採択: 上山川 早期完成: 小谷川、上谷川、毘紗川) 	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>河川は河和田川・吉野瀬川の改修について県に対し重要要望を行い、雨水幹線等については、御幸神中一号、日之出舟津、丸山二号、西雨水の整備を行いました。日之出舟津については、繰越となりH31年度に完成する予定です。また、大倉町、上河端町、四方谷町、大野町等で田んぼダムを整備し、河川の負担軽減に努めました。なお、神通川整備計画については、県との事業認可協議に向け、整備の必要性や概算事業費の策定などの概略設計を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川施設の整備延長 200m[A] (H29年度末 整備率59.7%→60.1%) ◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長 831m[B] (H29年度末 整備率45.2%→45.4%) ◆ 田んぼダム整備面積 126ha[A] ◆ 神通川整備計画策定(集落基盤) 翌年度策定[C] ◆ 土砂災害防止施設の整備促進 4箇所[A] (新規採択: 上山川 早期完成: 小谷川、上谷川、毘紗川)
<p>3. 農業生産基盤の更新整備の推進</p> <p>生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の整備を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業用排水路更新整備延長 480m ◆ 集落道整備延長 2,200m 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の整備を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業用排水路更新整備延長 480m[A] ◆ 集落道整備延長 2,280m[A]

<取組項目> □ □	<取組結果>
<p>4. 林業生産基盤整備の推進</p> <p>森林は、水源涵養や生態系保全、里山としての市民の憩いの場といった様々な機能を有しており、その機能を維持発揮するため、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備および自然環境や生態系に配慮した森林保全整備を実施します。</p> <p>◆ 林道の整備（路面改良・排水改良） 1,000m ◆ 森林景観の再生（雑木伐採・花木等植栽） 2地区</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>森林が有する水源涵養や生態系保全、里山としての市民の憩いの場といった様々な機能を維持発揮するため、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備および自然環境や生態系に配慮した森林保全整備を実施しました。</p> <p>◆ 林道の整備（路面改良・排水改良） 1,060m [A] ◆ 森林景観の整備（雑木伐採・花木等植栽） 3地区 [A]</p>
<p>5. 北陸新幹線の着実な推進</p> <p>北陸新幹線整備事業は、沿線集落との協議が十分に行われるよう鉄道・運輸機構・県と地元との関係の調整を図ります。また、沿線集落からの要望については市の整備計画に基づき計画的に実施し、用地協議や工事が円滑に推進するよう努めます。</p> <p>◆ 沿線集落との調整会議 10回 ◆ 先行事例視察（沿線住民対象） 1回 ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>北陸新幹線整備事業については、沿線集落と十分に協議を行い、鉄道・運輸機構や県と連携をとりながら、地元要望や道路等の機能回復を伴う補償工事の対応に取り組みました。</p> <p>◆ 沿線集落との調整会議 25回 [A] ◆ 先行事例視察（沿線住民対象） 1回 [A] ◆ 市民への広報紙等での情報提供 5回 [A]</p>
<p>6-1. 適正な都市計画・土地利用の推進</p> <p>立地適正化計画を推進するとともに、適正な都市計画・土地利用を図るため、都市計画道路および都市再生整備計画事業を推進します。</p> <p>◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会の開催 3回 ◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の整備に向けた関係機関協議 3回 ◆ 都市再生整備計画事業の変更 1月</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>適正な都市計画・土地利用を図るため、立地適正化計画の周知を図るとともに、都市再生整備計画の変更を行いました。また、「西山公園・鯖江IC」連絡道路の整備に向けた関係機関協議を行うとともに、県に重要要望を提出しました。</p> <p>◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会の開催 4回 [A] ◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の整備に向けた関係機関協議 4回 [A] ◆ 都市再生整備計画事業の変更 1月 [A]</p>
<p>6-2. 魅力的な居住空間・生活空間の創造</p> <p>良好な生活環境を整えるため、景観形成を推進し歴史や自然が調和したまちづくりを推進します。また西山公園一体が市民に愛される憩いの場となるように活性化と魅力の向上に努めます。</p> <p>◆ 道の駅「西山公園」来館者数 42万人 ◆ 西山動物園来園者数 21万人 ◆ 屋外広告物の是正 4箇所 ◆ 公園里親の新規登録数 (H29年度末 登録数144箇所→146箇所) 2箇所 ◆ 公園案内板整備 2箇所 ◆ 西山公園東山休憩所整備 3月</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>西山公園周辺の屋外広告物の是正を促進するとともに、西山公園東山に新たな休憩所を整備し、市民に愛される憩いの場となるように活性化と魅力の向上に努めました。</p> <p>◆ 道の駅「西山公園」来館者数 39万人 [B] ◆ 西山動物園来園者数 20万人 [A] ◆ 屋外広告物の是正 4箇所 [A] ◆ 公園里親の新規登録数 (H29年度末 登録数144件→146件) 2箇所 [A] ◆ 公園案内板整備 5箇所 [A] ◆ 西山公園東山休憩所整備 3月 [A]</p>

7. 良質な住環境づくりの推進

市営住宅の良質な住環境を維持するためのストック改善や安全で安心なまちづくりを推進するために、民間木造住宅の耐震化向上支援に取り組めます。また、住環境の向上を図り、若者が住みたくなるまちづくりを推進するために、多世帯同居・多世帯近居および空き家を活用した子育て世帯や移住者への居住促進補助や空き家利活用補助を行います。

◆ 市営住宅ストック改善事業の実施	1棟
◆ 民間未耐震木造住宅耐震化啓発活動	5回
◆ 住宅リフォーム、購入補助	6件
◆ 空き家利活用改修補助	3件

【成果等】 目標を概ね達成しました。

市営住宅の居住性、安全性の確保、良質な住環境を維持するため、ストック改善工事を実施しました。安全で安心なまちづくりを推進するために、民間木造住宅の耐震化向上支援に取り組むため、戸別訪問等を行いました。定住促進、子育て世帯支援、空き家の有効利活用促進のため啓発活動や支援を行いました。

◆ 市営住宅ストック改善事業の実施	1棟[A]
◆ 民間未耐震木造住宅耐震化啓発活動	5回[A]
◆ 住宅リフォーム、購入支援	5件[B]
◆ 空き家利活用改修補助	3件[A]

8. 安全でおいしい水の安定供給

災害時において重要施設や避難施設への給水を確保するため、主要な管路の耐震化を図ります。また健全な事業運営のため、基本計画の見直しにあわせて余剰施設廃止の検討を行います。

◆ 耐震管路の整備延長 (H29年度末 整備率60.4%→61.7%)	950m
◆ 水道基本計画の策定	3月

【成果等】 目標を達成しました。

災害時の給水を確保するため、重要管路の耐震整備を図りました。また基本計画を見直し、効率的な水運用のため施設廃止の検討を行いました。

◆ 耐震管路の整備延長 (H29年度末 整備率60.4%→ <u>61.7%</u>)	<u>984m</u> [A]
◆ 水道基本計画の策定	3月[A]

9. 下水道の普及促進

公共下水道および農業集落排水への接続や認可区域外等に合併処理浄化槽の設置を促進し、市民の生活環境の改善のため公共用水域の水質保全ならびに努めます。特に、水洗化については、接続率の低い東部地区を中心に促進活動を行い経営の健全化を図ります。また、不明水家屋調査を実施し、誤接続等の指導改善を行います。

◆ 下水道新規接続の推進	
・ 公共下水道の接続率	新規接続件数 20件
(H29年度末 接続率93.7%→93.8%)	
・ 農業集落排水の接続率	新規接続件数 10件
(H29年度末 接続率92.0%→92.2%)	
◆ 合併浄化槽の設置基数	40基
◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数	200戸
◆ 不明水家屋調査の実施戸数	100戸

【成果等】 目標を概ね達成しました。

下水道への新規接続件数は、公共47件・農集13件となり目標値以上の成果となりました。合併処理浄化槽の設置件数は、申請件数の減少により25基となり目標値に届きませんでした。下水道未接続世帯への普及促進は212件の戸別訪問を実施し、目標値以上を達成しました。

◆ 下水道新規接続の推進	
・ 公共下水道の接続率	新規接続件数 47件[A]
(H29年度末 接続率93.7%→93.8%)	
・ 農業集落排水の接続率	新規接続件数 13件[A]
(H29年度末 接続率92.0%→92.2%)	
◆ 合併浄化槽の設置基数	25基[C]
◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数	212戸[A]
◆ 不明水家屋調査の実施戸数	100戸[A]